

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70152
事業名	篠路駅周辺連続立体交差等整備費					
評価担当課	所 属	建)土木部 道路課			電話番号	011-211-2617
施策名	道路や広場などの都市基盤等の空間が有効に利活用され、まちにゆ					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	篠路駅周辺地区は、地域交流拠点に位置付けられるなど、北区北部の重要な地域となっているが、鉄道による東西市街地の分断、踏切付近での慢性的な渋滞、駅東側の脆弱な社会基盤、土地の低未利用などの課題を抱えており、多様な課題を改善すべく、鉄道高架事業や周辺の道路整備事業、土地区画整理事業などの社会基盤整備を進めている。
	事業内容(何を実施し)	市街地の連携強化を図るため、踏切や地下歩道の除去と自由通路整備などの鉄道高架事業(連続立体交差事業)を行う。また、道路利用者の移動円滑化を図るため、道路の新設や車道・歩道の拡幅工事、歩道のバリアフリー化などの周辺道路整備事業(街路拡幅工事等)を行う。令和5年度は、鉄道高架の設計及び用地買収等を実施した。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	土地区画整理事業と連携して鉄道高架化や周辺道路整備等の社会基盤整備を進めることで、鉄道に分断された市街地の一体化を図るとともに、踏切解消に伴い交通混雑の緩和や交通事故の減少等を図ることにより、地域交流拠点にふさわしいまちづくりを行っていく。
	他都市の状況	まちづくりの手法として鉄道高架事業は他都市においても実施されている。
	市民参加の実施	☒ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	1,727,331 千円	うち特定財源	1,500,500 千円	正規職員業務量	15 人工
令和5年度予算額	720,109 千円	うち特定財源	643,000 千円	正規職員業務量	4 人工
令和5年度決算額	216,531 千円	うち特定財源	172,942 千円	正規職員業務量	3 人工
令和6年度予算額	525,550 千円	うち特定財源	424,930 千円	正規職員業務量	2 人工

指標	アウトプット活動指標1	鉄道高架事業等の進捗率				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		9%	10%	9%	11%	14%	21%
	↓						
	アウトカム成果指標1					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度は未達成だが、翌年度に繰越して執行予定であるため、後年次においては目標を達成予定。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	篠路駅周辺地区のまちづくりを進めるため、鉄道高架事業、周辺道路整備事業、土地区画整理事業が一体となって進められており、引き続き連携を図りながら、着実に事業を進める。